

平成 29 年 8 月 30 日  
国土交通省東北地方整備局  
新庄河川事務所  
鶴岡市教育委員会

## 鶴岡市立あさひ小学校で初めて土砂災害の防災教育を実施します ～自らが命を守る行動をとることを目指して～

土砂災害に対し自らが命を守るための行動をとるためには、幼少期からの防災教育が重要であるため災害対応等を担う国土交通省では、防災教育の支援に係る取り組みを強化しております。

今回、平成 29 年 9 月 5 日（火）に、鶴岡市立あさひ小学校の全児童を対象とした防災教育を行います。

防災教育では、土砂災害に対し自らが命を守る行動をとることを目的として、「土砂災害の特徴と危険な場所」及び「土砂災害から身を守るための行動」等について、土石流模型実験装置・土砂災害の映像（土石流及び斜面崩壊等）を用いながら学習を行います。

なお、防災教育の実施にあたっては、山形大学（八木浩司教授、村山良之教授）及び最上川・赤川水系砂防ボランティア協会と協同で実施します。

※1：防災教育にあたっては、月山及び郷土と地形の成り立ちや防災等についての教育実践に精通した山形大学の教授から協力をいただくものです。

※2：砂防ボランティア協会は、「自発的」「無償的」「公共的」等の活動を通じ、土砂災害防止に貢献すべく様々な取り組みを行っています。

### 記

#### ■実施内容

日 時：平成 29 年 9 月 5 日（火） 9：45～14：30

集合場所：鶴岡市立あさひ小学校

■参加人員：あさひ小学校 全児童（約 190 名）

（発表記者先）

山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会

#### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所  
〒996-0071 新庄市小田島町 5-55 TEL 0233 (22) 0262 (調査課直通)

副所長（砂防） しぎはら よしたか 嶋原 吉隆（内線 205）

調査課長 くぼた としかず 窪田 敏一（内線 351）

鶴岡市教育委員会 学校教育課

〒997-0346 山形県鶴岡市上山添字文栄 100 番地 TEL 0235 (57) 4864

指導主事 さいとう かずひろ 齋藤 和宏  
(防災教育担当)

## 鶴岡市立あさひ小学校 防災教育 実施計画(予定)

実施期日：平成29年9月5日(火)

時間割	学 習 内 容	対象学年	備 考
9:45 ~ 10:25	土砂災害とその危険性を知る	1. 2年生 約60名	・座学 (土石流模型実験装置実演等)
10:45 ~ 11:30	土砂災害の特徴と危険な場所を知る	3. 4年生 約70名	・座学 (土石流模型実験装置実演等)
11:35 ~ 12:20	土砂災害の仕組みと身を守る行動を考える	5. 6年生 約60名	・座学 (土石流模型実験装置実演等)
12:20 ~ 13:30	昼食		
13:30 ~ 14:30	土砂災害から身を守るための実習	全児童 約190名	・座学 (土砂災害の映像、災害対応カード及び地図を用いた災害図上訓練等)

### ～ 今後の防災教育の予定 ～

期日	対象学校	備 考
9月25日(月) ~ 9月26日(火)	庄内町立立川小学校	
10月 2日(月) ~ 10月 3日(火)	庄内町立余目第1小学校	
10月10日(火)	庄内町立余目第4小学校	

平成29年7月11日(火)及び12日(水)に、庄内町立立川中学校の1学年(31名)を対象に防災教育を行いました。11日(火)は、現地体験学習として、地域の歴史や文化及び地層、立谷沢川の成り立ちと自然と暮らし、砂防堰堤の効果等について現地で学習を行いました。12日(水)は、出前授業として、土砂災害等のしくみや自然災害から身を守る方法等の学習を行いました。なお、本取組みは、<sup>※1</sup>山形大学の八木教授、<sup>※2</sup>村山教授、最上川・赤川水系砂防ボランティア協会と協同で実施しました。

※1: 防災教育にあたっては、月山及び立谷沢川等郷土と地形の成り立ちや防災等についての教育実践に精通した山形大学の教授から協力をいただきました。

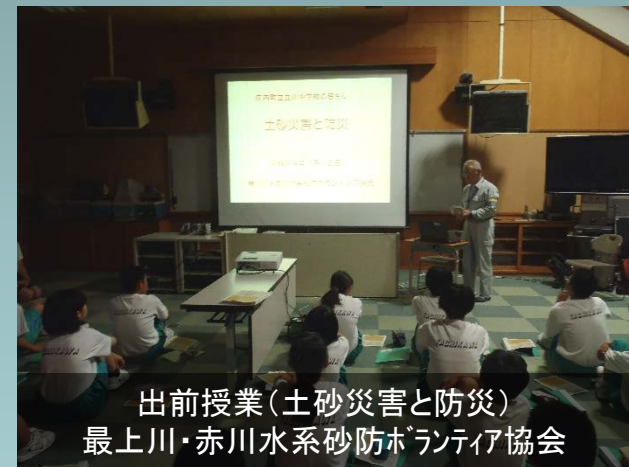
※2: 砂防ボランティア協会は、「自発的」「無償的」「公共的」等の活動を通じ、土砂災害防止に貢献すべく様々な取組みを行っています。



授業(立谷沢川の成り立ちと自然)  
山形大学 八木教授



出前授業(地震災害と防災)  
山形大学 村山教授



出前授業(土砂災害と防災)  
最上川・赤川水系砂防ボランティア協会



出前授業(模型実験装置実演)  
新庄河川事務所



出前授業(身を守る方法等の実習:生徒)  
山形大学 村山教授